



ALOS(だいち)データ主提供業者 としての取り組み

平成18年6月22日
(財)リモート・センシング技術センター
利用推進部次長 伊藤 恭一

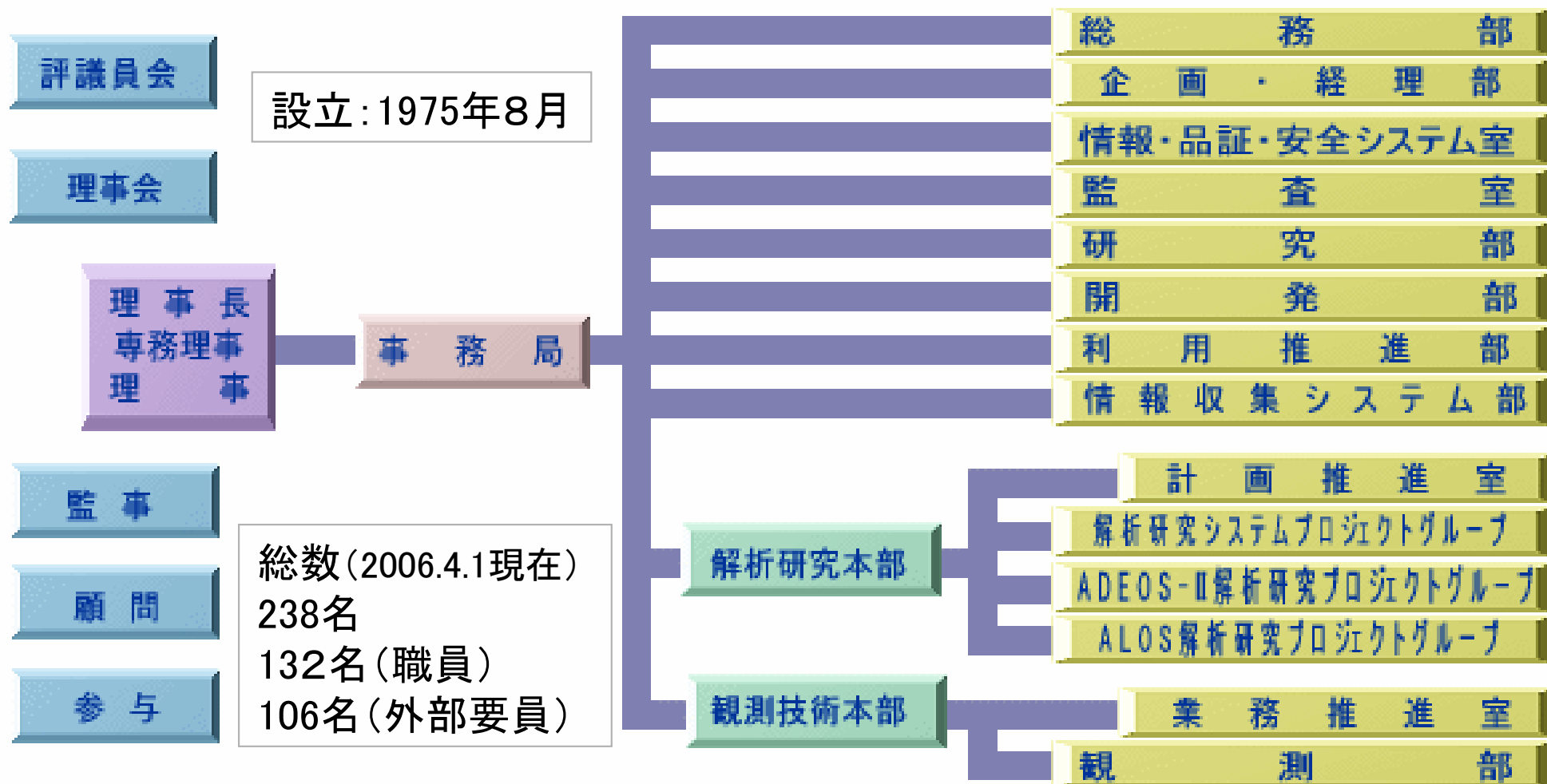
- ・ はじめに
- ・ RESTECの概要
- ・ RESTECの位置づけ
- ・ ALOSデータ販売について
- ・ ALOS標準処理データの種類
- ・ ALOS標準処理データの価格表(案)
- ・ 付加価値製品の提供
- ・ 高次付加価値製品の提供
- ・ オンデマンド製品／サービスの提供
- ・ RESTECオンラインデータサービス
- ・ 国内販売代理店の募集
- ・ 海外提供の基本方針(案)

(財)リモート・センシング技術センター(RESTEC)は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)からライセンス認定を受けたALOSデータ主提供機関(Primary Distributor: PD)です。

RESTECはPDとして、お客様のニーズに合わせた様々なカスタマーサービスを提供します。

- 全世界のALOS(標準処理:レベル1)データを提供
- 高次付加価値製品、オンデマンド製品を世界のユーザへ提供
- ALOSの総合的な利用促進の実施
- コンサルテーション、セミナー、トレーニング等利用支援の実施

RESTECの概要



RESTECの位置づけ



宇宙開発

(財)リモート・センシング技術センター

データ利用

日本

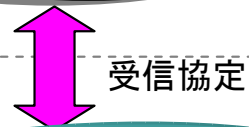
宇宙開発委員会
目標・戦略



関連省庁
文部科学省



宇宙航空研究開発機構
(JAXA)



外国

外国衛星開発・運用機関
衛星開発・運用
データ提供

データ輸入

商業契約

RESTEC

宇宙開発成果の
利用・運用

データ提供
利用促進

データ受信・処理

データ解析研究

データ提供

普及・啓発

教育・訓練

国際協力

委託等
受託成果の反映

協力

大学・研究機関等
科学研究

地方自治体等
行政利用

民間企業
商業利用

民間企業
データ受信／処理等
データ提供・付加価値加工

- 販売開始時期 平成18年10月頃
定常段階移行後(打上げ後9ヶ月目処)
- 対象プロダクト
標準処理データ、付加価値製品、高次付加価値製品、
オンデマンド製品
- 対象ユーザ
 - ①標準処理データ・付加価値製品
タイを除くアジア及びオセアニアノードに居住するユーザ
 - ②高次付加価値製品
全世界

ALOS標準処理データの種類



CEOSフォーマットを使用

センサ	処理レベル	概要
AVNIR-2 PRISM	レベル 1A	シーン単位に切り出した未補正データ
	1B1	ラジオメトリック補正済みデータ
	1B2	幾何学補正済みデータ
PALSAR	1. 0	シーン単位に切り出した未補正データ
	1. 1	レンジ圧縮及び1ルックアジマス圧縮後のスラントレンジ上の複素数データ
	1. 5	ジオレファレンス画像※

提供方法

- CD-R
- DVD-R
- オンライン

- ※ジオレファレンス画像とは以下の通りです。
- ▶レンジ圧縮及びマルチルックアジマス処理を行った振幅データ。
 - ▶グラウンドレンジに投影後、地図投影を実施。
(但し、SARの倒れこみについては未補正)
 - ▶画像の向きは衛星の軌道パスに平行。

ALOS標準処理データ価格表(予定)



価格名(仮称)	価格(税別)	購入目的
標準価格	25,000円	購入者の内部利用 (いわば、一般ユーザ向価格)
特定目的価格	50,000円	標準処理データを用いた高次付加価値製品の製造及び販売 (いわば、二次加工業者向価格)

- (注) ➤ 上記価格は、全てのセンサ(PRISM, AVNIR-2、PALSAR)の標準処理レベルに適用されます。また、国内ユーザ、海外ユーザ共通価格です。
- 上記に定めるほか、大量購入割引、オンライン(CROSS)割引価格などの割引体系を導入する予定です。

ユーザのニーズにより適した製品の提供

●付加価値製品の定義

製品の各ピクセル(Pixel)に原初データが保存されていて、元の標準データに戻すことが可能な製品。

平成18年10月よりサービス開始予定(価格未定)

フォーマット変換データ

- ・ GeoTIFF
- ・ 各種画像ファイルフォーマットのサポート
- ・ 汎用解析ツールの対応

なお、上記以外の付加価値製品についても、ユーザのご要望により、個別にご相談に応じます。詳しくは当財団利用推進部にお問い合わせください。

ユーザの利用目的に特化した製品

●高次付加価値製品の定義

高次に加工されていて、各ピクセル(Pixel)が原初データを保持せず、元の標準データに戻すことができない製品。

高次付加価値製品の例

平成18年10月よりサービス開始予定(価格未定)

オルソ画像モザイク	日本／世界のオルソモザイクデータ
2次メッシュ切り出しデータ	国土地理院1/25,000地形図に対応するオルソメッシュ
標高データ(DSM)	PRISMもしくはPALSARから作成したDSM
パンシャープン画像	PRISMのパンシャープン画像(AVNIR-2利用)

オンデマンド製品／サービスの提供



ユーザの要望ベースに基づく製品及び関連した各種サービス

オンデマンド製品／サービスの例

平成18年10月よりサービス開始予定(価格未定)

オンデマンド製品	ベクトル情報付加データ	行政界等ベクトル情報付加
	希望地域の切り出しサービス	市町村単位、県単位等
	3次元画像	鳥瞰図
解析サービス	植生指数データ	NDVI、テクスチャ検出
	主題図	植生、土地被覆等各種分類図
	変化抽出データ	都市開発、環境変化等の抽出
	SARインタフェロメトリ	干渉縞、DSM抽出地形情報
コンサルテーションならびにユーザサポート	作業サポート	ニーズに応じた各種支援作業等の実施

RESTECオンラインデータサービス(1)



RESTEC独自のオンラインデータサービスシステム
「CROSS」の運用を平成17年12月より開始。
ALOSデータ配布にも適用(10月予定)

CROSS: Customer-oriented RESTEC On-line Service System
<https://cross.restec.or.jp>

トップページ



サービスメニュー



CROSSの特徴

- 地球観測衛星データのカタログ検索から、注文、さらに注文データのステータス確認まで、ご自身で簡単に行えます。
- マイホルダーを利用することにより検索履歴を保存することができます。
- クレジットカードによるお支払いも可能です。
- ALOSデータについてはCROSS割引を予定しています。
(CROSSで注文されるお客様に割引価格で提供)

CROSSアドレス: <https://cross.restec.or.jp>

国内販売代理店の募集(その1)



ALOSデータの利用促進及び利用分野の拡大を目的に国内の利用者を対象とした販売代理店を募集

1. 募集内容

①取扱い商品

- ・ALOS標準処理データ
- ・当財団作成付加価値製品及び高次付加価値製品
- ・その他当財団が指定するALOS関連製品

②販売対象地域

- ・日本国内

2. 募集基準

①衛星データの販売実績があること

②販売体制(営業、管理等)が整っていること

③相応の財務内容であること(例:国の統一参加資格を取得)

④衛星データの販売に関し得意分野を持つこと

(例:地域、業界、利用分野、プロダクト等)

3. 契約条件

- ①契約形態 : 非排他的販売代理店権利の付与
- ②販売対象地域 : 日本国内
- ③契約期間 : 締結日より1年間(自動更新)
- ④手数料 : 販売金額の20%
- ⑤副代理店の設置 : 不可
- ⑥販売状況報告 : 四半期毎
- ⑦契約の解除 : 60日間の事前通知

4. 応募方法(様式適宜)

- ①企業・団体名、住所、ご担当者氏名及び所属部署
- ②衛星データ販売実績(履歴、実績(直近3年分、衛星別、金額))
- ③販売ネットワーク及び管理体制
- ④得意分野(地域、業界、利用分野、プロダクト等)
- ⑤年間販売計画(センサ別)
- ⑥その他コメント

国内販売代理店の募集(その3)



5. 申込書の送付

封筒に「ALOS国内代理店応募資料在中」と記述の上、郵送にて平成18年6月23日(金)までに以下宛ご送付ください。

〒106-0032

東京都港区六本木1-9-9 六本木ファーストビル12階
(財)リモート・センシング技術センター
利用推進部利用開拓課 宛

6. 選定スケジュール

①選定 : 6月下旬

②契約締結: 7月以降適宜(8月末まで)

7. お問い合わせ先

メールアドレス: dairiten-alos@restec.or.jp

※詳細はRESTECホームページをご覧ください

RESTECホームページ: <http://www.restec.or.jp>

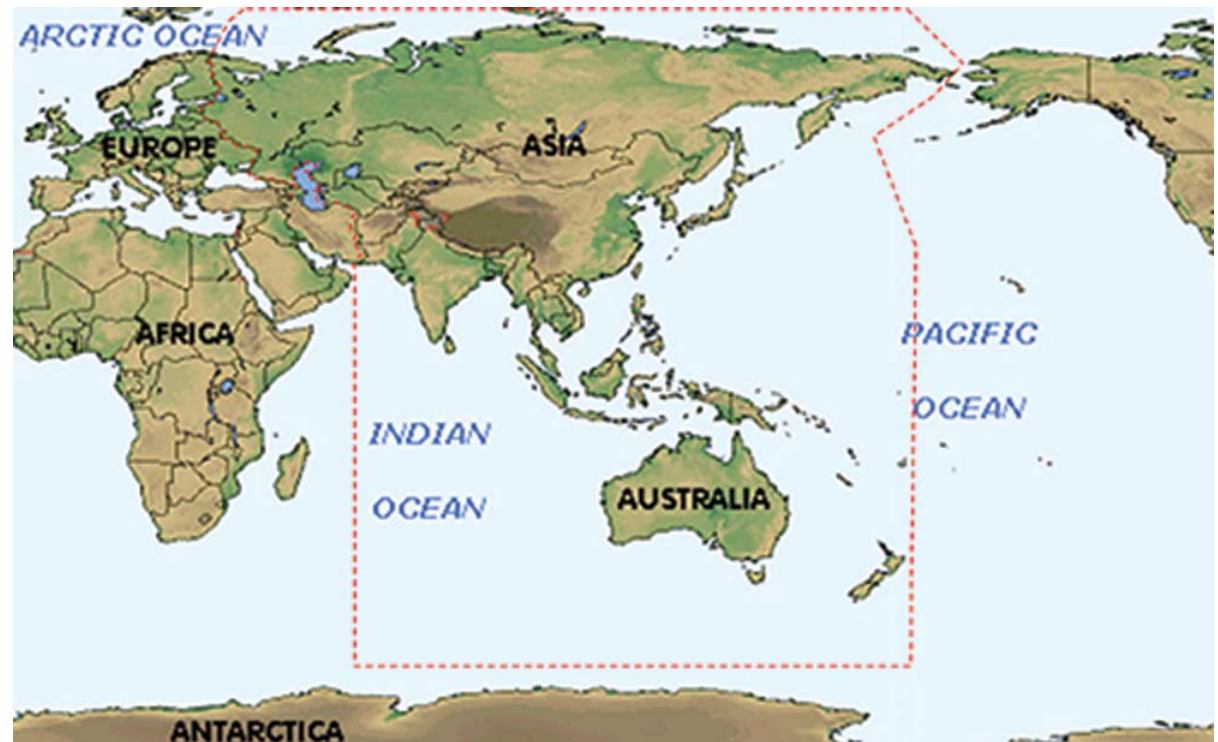
海外提供の基本方針(案)



- 海外販売代理店網による販売を基本とする。
- 各国、地域の実情に合わせた展開を行う。
 - ・ALOSデータ需要の大きさを基準に代理店の構築

- 対象地域
 - ・アジア
 - ・オセアニア
 - ・ロシア

※国内代理店で海外提供希望
の場合は別途調整



お問い合わせ先

(財)リモート・センシング技術センター
利用推進部 データ普及課

電話 : 03-5561-9777

FAX : 03-5574-8515

E-mail : data@restec.or.jp

設立：平成16年6月30日

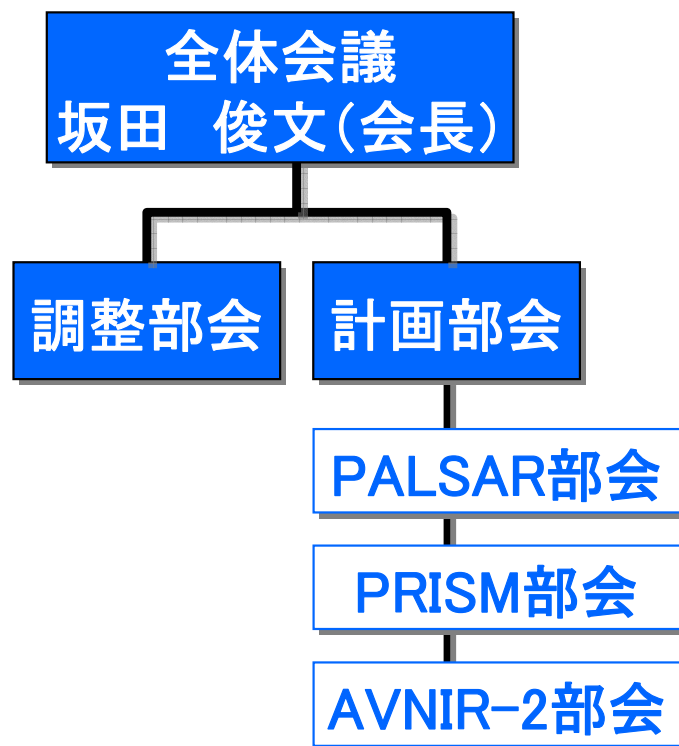
活動目標

- 衛星データ利用を幅広く促進する
- データ利用産業を振興し活発にする
- ALOSに続く次期ミッションを提案する

平成18年度活動内容

- ① ALOS衛星及びALOSデータの利用に関する様々な情報の提供、交換
- ② 利用促進を促すためのシンポジウム、講演会・セミナー等の実施
- ③ ALOS成果物を相互に利用可能とする(標準)規格・仕様等の検討、普及活動
- ④ ALOSコンテンツの開発・流通および相互利用の促進活動
- ⑤ ALOSデータ利用ガイドラインの整備
- ⑥ ALOSデータ利用者向け教育・セミナー等の検討
- ⑦ ALOS情報を集約したポータルサイトの構築
- ⑧ データ利用者の要望を反映した、サービス改善事項のとりまとめと関係機関への要望
- ⑨ 産学官の関係機関とのALOSを中心とした衛星データ利用に係る連携協力の推進
- ⑩ 地球観測データ利用や次期地球観測ミッションに係る提言活動
- ⑪ ALOS利用協議会の会員増加を図る

体制



会員構成(131会員)

法人会員 58会員	民間会社	48社
	社団法人・ 財団法人	4団体
	国立機関	6機関
個人会員 73会員	民間会社	22会員
	大学・研究 機関	26会員
	その他	25会員

会員の特典

- (財)リモート・センシング技術センターの開発するALOS画像簡易表示ビューワの無償提供
- ALOS利用のための検索講習サービス
- 協議会員の開発したALOS利用ソフトウェアや製品に関する情報発信・提供
- 会員間の情報交換、事業協力の促進
- 財団が所有する情報・技術のサービス

会費(年会費)

法人会員5万円

個人会員5千円

事務局

東京都港区六本木1-9-9

六本木ファーストビル12階

(財)リモート・センシング技術センター

電話: 03(5561)9151

FAX : 03(5574)8515

E-mail: ALOS_UC@restec.or.jp